

国際骨髄腫財団日本支部 日本骨髄腫患者の会

International Myeloma Foundation, Japan

2016 年度 多発性骨髄腫研究助成

多発性骨髄腫研究助成は、全国の骨髄腫の患者さんとその家族の方々から日本骨髄腫患者の会に寄せられる寄付金を原資として、日本国内で多発性骨髄腫の研究に従事する医師、研究者に研究助成金を給付する日本骨髄腫患者の会が運営する事業です。骨髄腫の完全治癒あるいは治療の進展に強い願いが込められています。

本事業は、2000年9月に永眠した日本骨髄腫患者の会の創立者堀之内朗さんを偲び、国際骨髄腫財団(IMF; International Myeloma Foundation)の助成事業のひとつとして「堀之内朗記念助成(The Award in Aki's Memory)」として設置されました。現在では名称を「多発性骨髄腫研究助成(IMF Japan's grants)」と改め、助成事業は少しずつ広がって参りました。2002年の助成から今回の2016年度課題募集で16回目を数えます。

記

【多発性骨髄腫研究助成事業】

応募課題より秀逸な課題2題を採択し、最上位を堀之内朗記念助成、次点に特別研究助成を給付します。

堀之内朗記念助成:	採択数	毎年1件
	助成期間	1年間
	助成額	200万円
特別研究助成:	採択数	1件(公募しない年もあります)
	助成期間	1年間
	助成額	150万円

【課題選考】

多発性骨髄腫に造詣が深い専門家によって組織された研究助成選考委員会(委員長ほか4名)が応募課題から厳正に審査し、選考します。

2016 年度研究課題募集要項

■公募

- 採択件数 2件(堀之内朗記念助成1件、特別研究助成1件)
- 研究期間 2016年4月1日から1年間

■応募資格

日本国内の研究施設および病院に所属する個人またはグループ。ただし研究代表者は、患者の会主催の患者向けの講演等を日本語で行なうことができ、患者の会からの問い合わせ等に対して日本語で答えられること。

■ 募集期間

2015年11月1日(日)～2016年1月17日(日)

■ 申請に必要な書類

- 1 所定の「多発性骨髄腫研究助成」申請書様式一式
- 2 履歴書(学歴、職歴、所属学会、資格等を記載したもの)
- 3 申請者の所属する機関の長または部局長、あるいはこれに準ずる上司による「多発性骨髄腫研究助成」への応募承諾書(書式自由)

* 申請対象の研究課題に関連した、受領中または申請中の助成金などの援助がある場合はその詳細を申請書類中の「6. 研究費の申請・受領の状況」に記入して下さい。同一課題で他から助成金が出る場合には助成対象とならないことがあります。審査にあたっては、上記で求められている以外の添付書類や推薦状等は考慮されません。

* 応募承諾書は応募が申請者の独断によるものでないことを確認するためのものなので、作成者は応募内容を知る上長であれば役職は問いません。

■ 申請書類作成上の注意

- 1 申請書類一式は英語表題、参考文献を除いて、原則として日本語で記述してください。
- 2 申請書は所定の申請書様式(Microsoft Word 形式)をダウンロードし、様式中の指示に従い必要事項を記入してください。
- 3 申請者は申請書類一式のコピーを取っておいてください。

■ 審査基準

申請者の過去の業績と提案研究課題の内容から判断して、有意義な結果が期待できる先導的で独創的な案件であること。骨髄腫の原因、診断や治療、あるいは予防などに関する知識の前進への寄与が大きい成果が得られると認められること。

■ 選定結果の通知

研究助成課題採択者決定後、速やかに選考結果を日本骨髄腫患者の会よりすべての申請者に対して文書にてお知らせします。

■ 研究助成採択者の講演と成果報告

- 1 研究助成課題採択者には、2016年5月29日(日)に徳島市内にて開催する日本骨髄腫患者の会主催「骨髄腫セミナー2016」において採択課題発表講演および目録授与式への出席をお願いします。
- 2 研究期間終了後、成果報告書と助成金使途明細書を提出していただきます。また、本助成によることを明記した発表論文の別刷りを日本骨髄腫患者の会にご寄贈いただきます。なお、成果報告書は本助成によることを明記した発表論文別刷りで代えることもできます。

■ 送付方法、送付先および問い合わせ先

申請書類一式は書留郵便または宅配便で以下に送付してください。

〒184-0011 東京都小金井市東町4-37-11

日本骨髄腫患者の会

電話: 042-381-0279

E-mail: owner-imfjapan@myeloma.gr.jp

■応募書類送付の締切日
2016年1月17日(日)必着

■受領確認
申請書が到着しましたら、Eメールでその旨ご連絡します。

■課題公募から助成までのスケジュールとその詳細

2015年11月1日	公募開始
2016年 1月17日	公募終了
2月下旬～3月	選考委員会開催
選考会終了後	応募者へ採択可否の通知
4月 1日	助成金交付 ⁽²⁾
5月29日	骨髓腫セミナー2016において授賞式 ⁽¹⁾
12月	第58回アメリカ血液学会年会での IMF 授賞レセプション ⁽³⁾

- (1) 助成課題採択者は、2016年5月29日に徳島市内で開催する骨髓腫セミナー2016に招聘いたします。
- (2) 助成金は、2016年4月1日から始まる研究期間に助成課題採択者が所属する機関に対して提供されます。
- (3) 助成課題採択者は、2016年12月3～6日に米国で開催される第58回アメリカ血液学会年会(ASH2016)での **IMF** 授賞レセプションに参加でき、**IMF** 本部から記念盾の授与があります。

■その他

- 1 日本骨髓腫患者の会発行の情報誌ならびに新聞および日本骨髓腫患者の会の **Web** サイトにて採択研究課題の概要を紹介することに同意いただき、公開資料の提出を依頼されることがあります。
- 2 日本骨髓腫患者の会が主催または共催するセミナー、講演会等の講師をお願いすることがあります。
- 3 採択された研究課題に対して、他の機関から財政的援助の申し出があった場合、助成課題採択者は速やかに日本骨髓腫患者の会にお知らせください。本研究助成に支障がない場合には、同じ研究課題に対して他の機関の援助を受けることができます。

■**IMF** の他の助成金

日本国内の医師、研究者を対象とする「多発性骨髓腫研究助成」とは別に、国際骨髓腫財団では世界中の医師、研究者を対象とする研究助成金を提供しています。これらの助成金は国際骨髓腫財団への寄付金を財源として、国際骨髓腫財団から毎年提供されます。**Brian D. Novis** 賞は国際骨髓腫財団の創立者であり、1992年7月に多発性骨髓腫で亡くなられた **Brian Novis** 氏の功績を記念するものです。詳細は **IMF** のウェブサイトをご参照ください。

*「国際骨髓腫財団」およびその日本支部の「日本骨髓腫患者の会」は、多発性骨髓腫とその治療法に関する正しい知識を提供し、患者の生活の質の向上の実現を使命とする非営利団体です。

以上